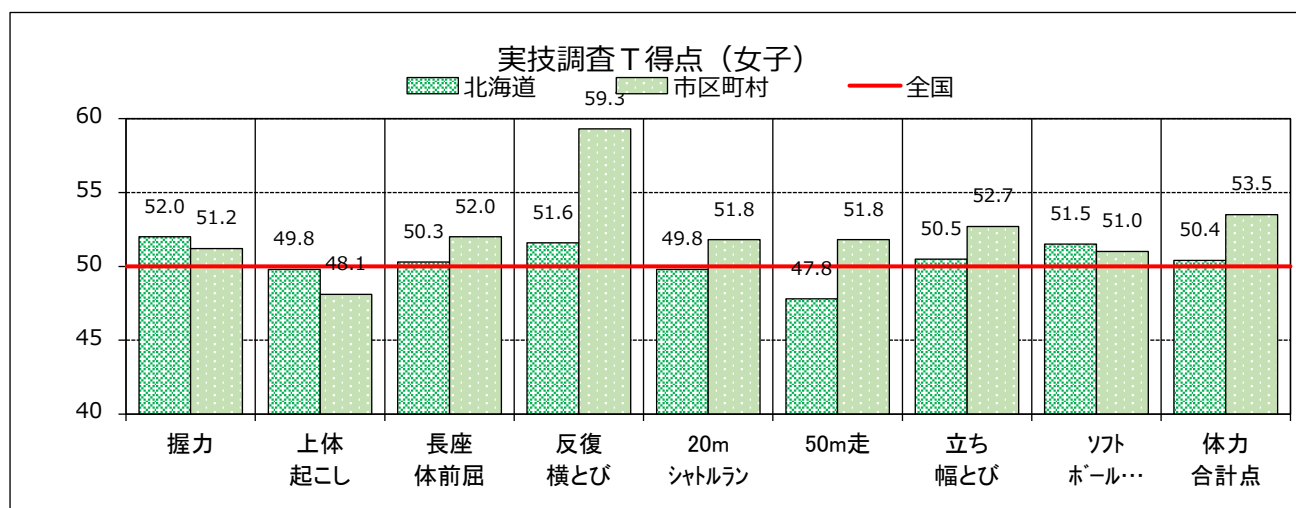
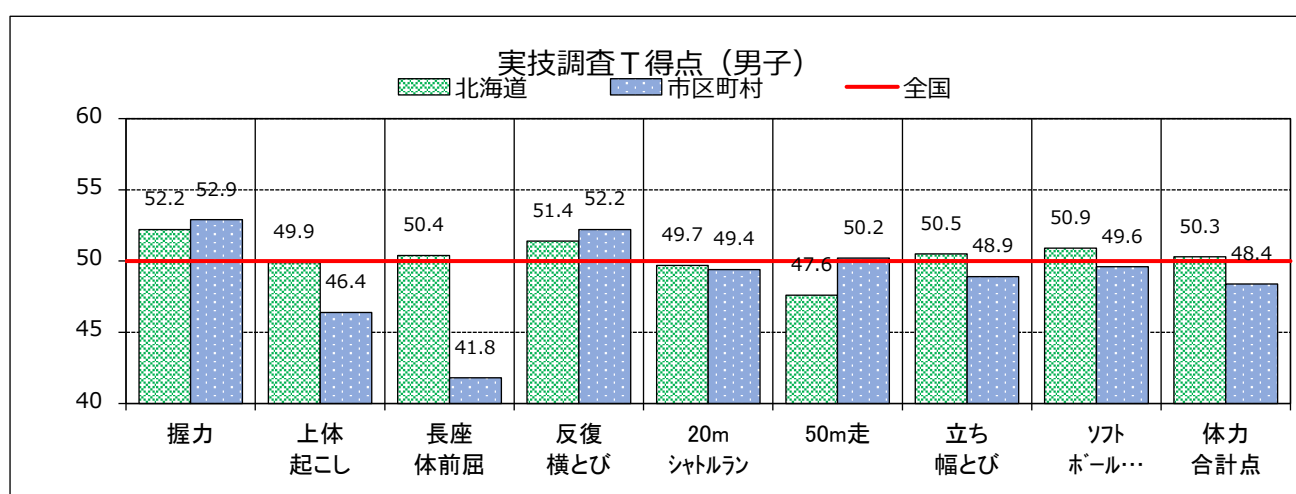


令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査集計結果について

全国体力・運動能力、運動習慣等調査については、全国学力・学習状況調査と同様に、本町においては、対象学年児童生徒の人数が少ないことから、今年度の結果が全学年や本町の傾向を表しているとは考えにくい。また、全国学力・学習状況調査とは異なり男女別の結果となっているため、全体数はさらに少なくなってしまう。このことから、参考値としてとらえながら、課題として明らかになったところについては、小学校体育・中学校保健体育の授業改善のヒントとしつつ、課題解決のための学校の教育活動全般の工夫改善を見据えた、カリキュラムマネジメントの参考資料とすることが望まれる。

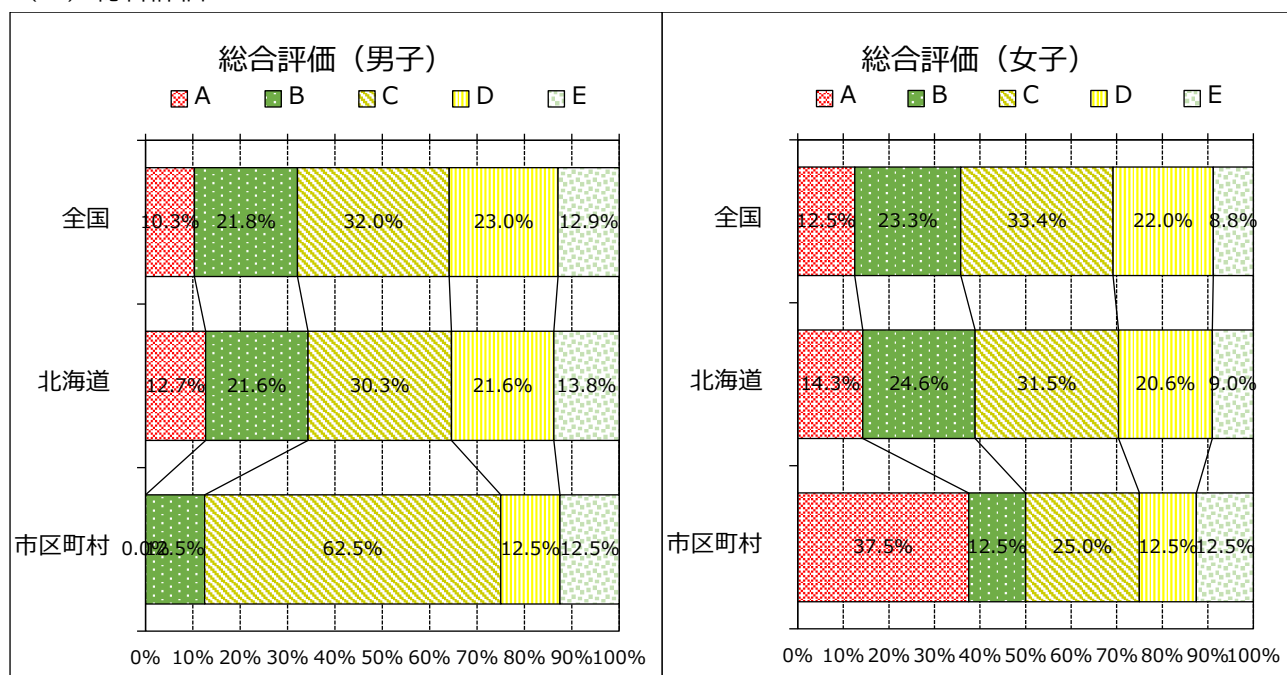
1, 京極小5年生

(1) 実技集計



男女ともに上体起こしが少し低く、男子は長座体前屈が大きく下がっている。授業改善のヒントとは考えていないが、各種目は多くの体育教員によって指導のコツが紹介されている。特に長座体前屈は、測定前の少しの指導で10cm前後の伸びが見込まれる。

(2) 総合評価

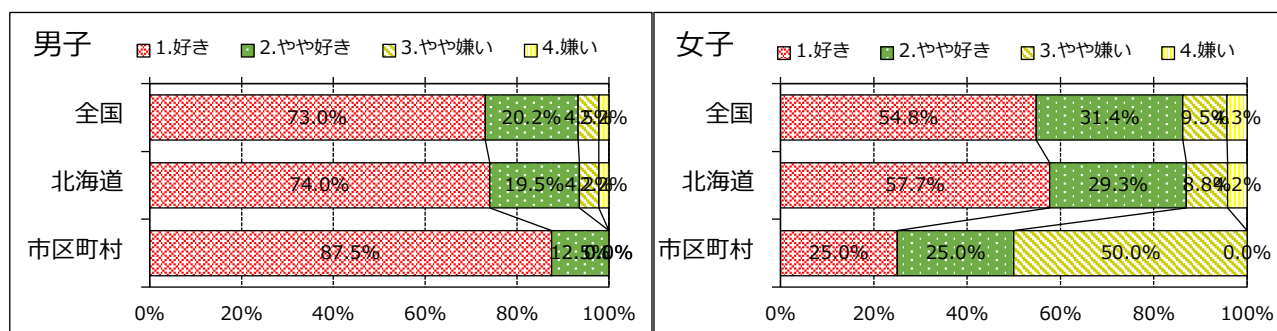


上位層の女子が多く、全体的には男女差がある。

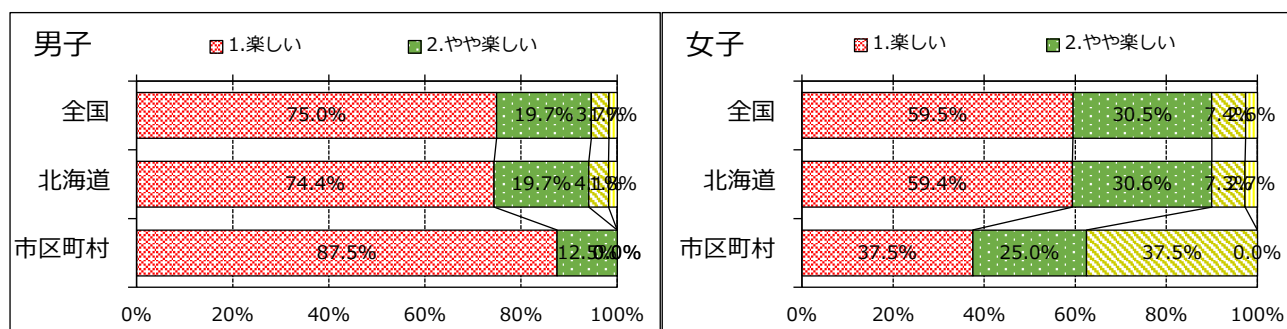
(3) 児童質問紙

Q1：運動やスポーツをすることは好きですか

⇒男女ともに、否定的回答0 ※ただし男女差がある。女子は運動能力が高い傾向にあるが、運動そのものを好きと答える児童が少ない。

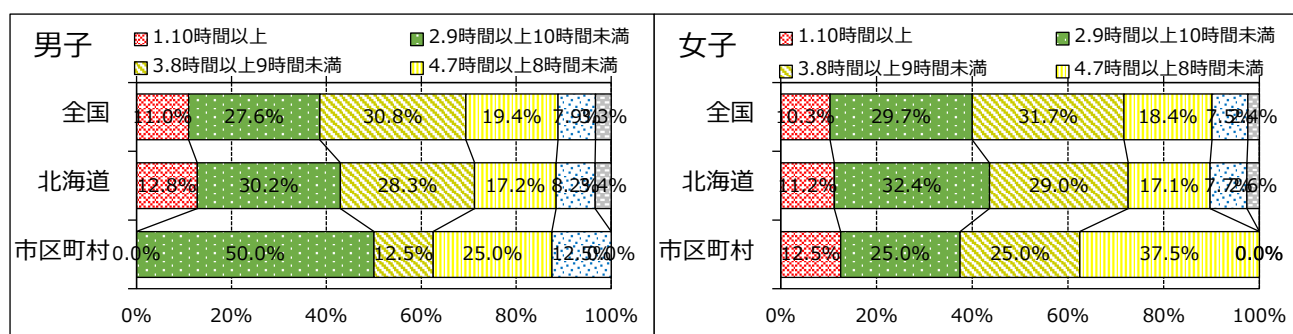


Q9：体育の授業は楽しいですか



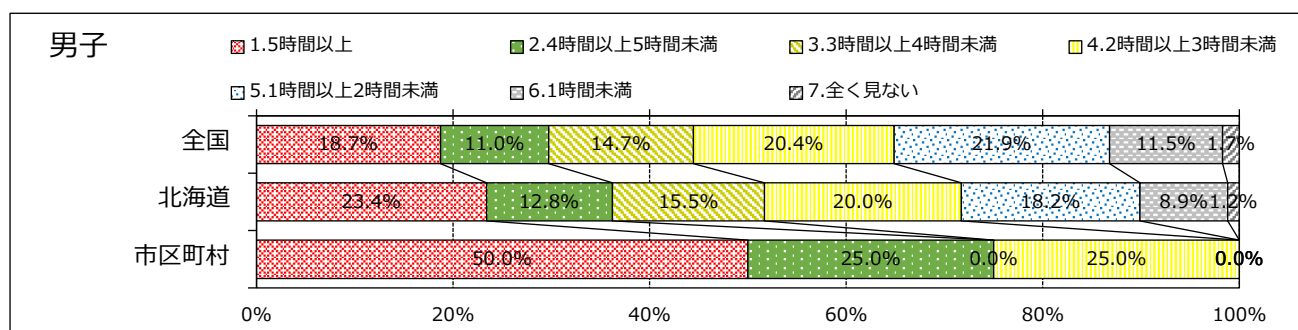
⇒男子は肯定的回答が多い。女子は約4割が否定的回答をしている。

Q7：毎日のどのくらいねていますか



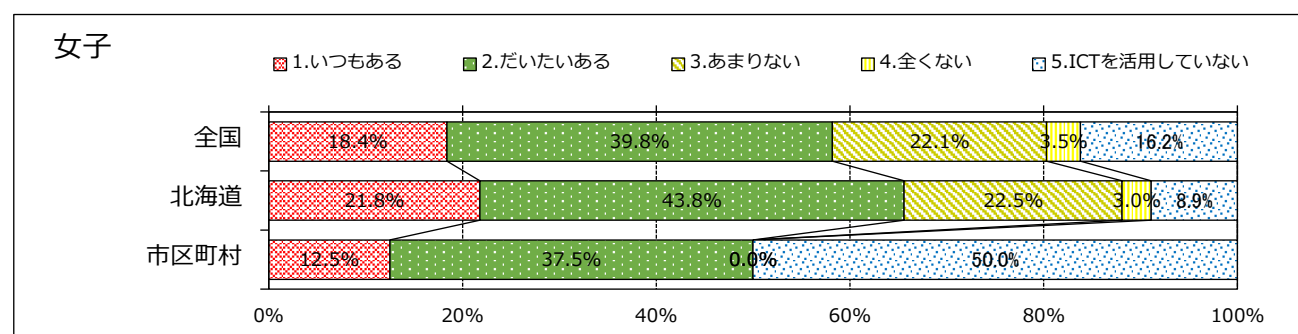
⇒睡眠時間8時間未満の児童は男女とも全国平均より10%ほど多い。

Q8：学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。（平日）



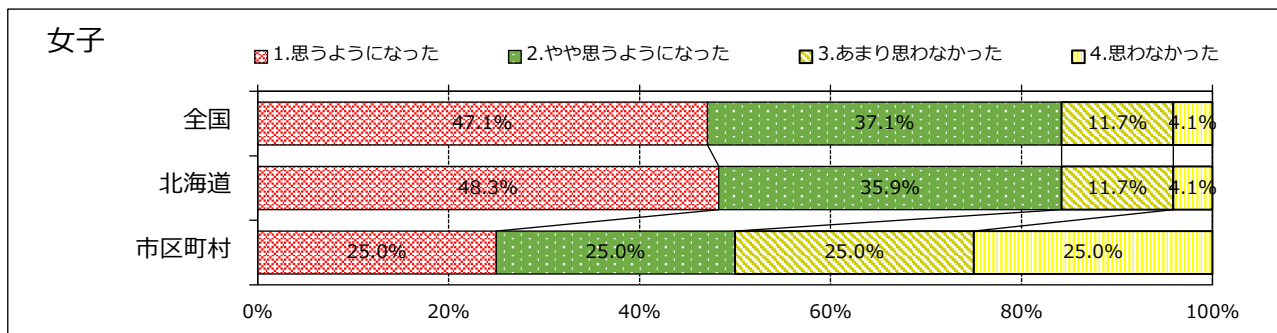
⇒4時間以上と答えている男子は全国平均より45%ほど多く、100%の児童が毎日3時間以上利用している。

Q14：体育の授業で、ICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか



⇒女子の半数がICTを活用していないと回答している。体育の授業におけるICTの活用について研修を深めることも、児童の実態から必要ではないかと考える。

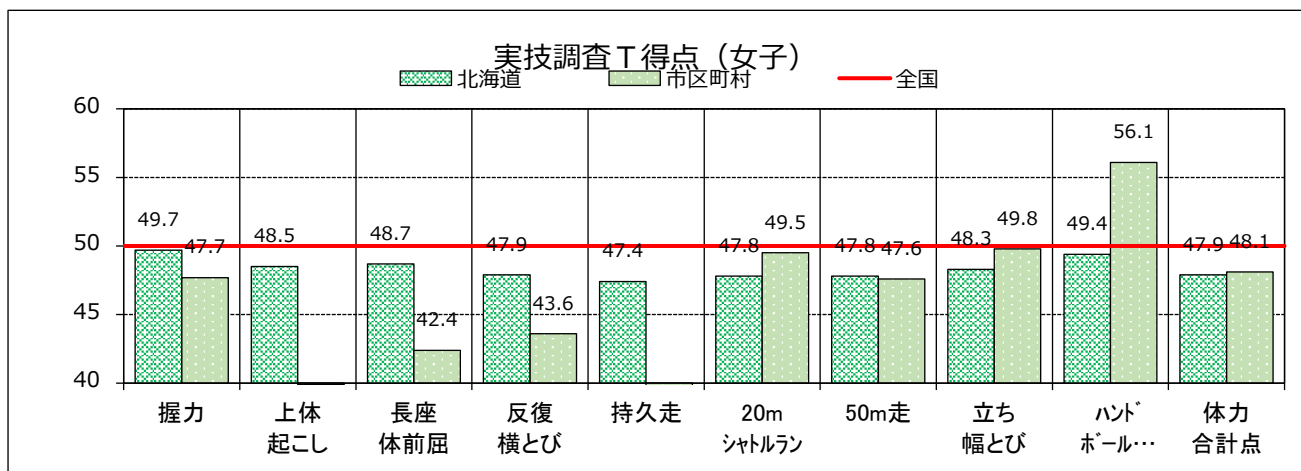
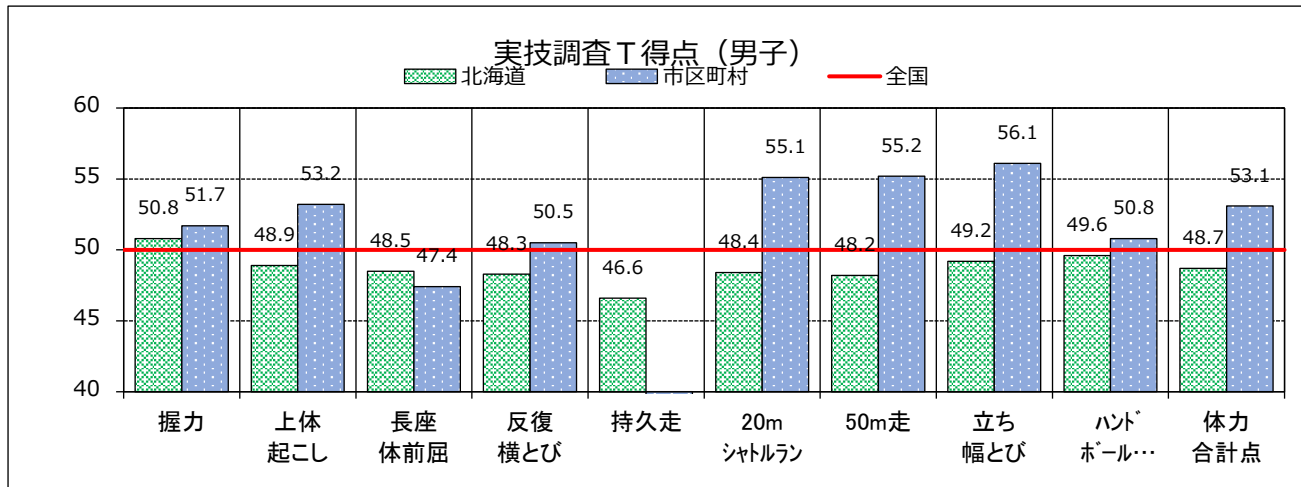
Q18：保健を学習して、もっと運動しようと思いましたか。



⇒保健の学習を通して、運動の大切さが実感できなかったか、そもそも運動自体が嫌いなため、大切さが実感できても行動を伴うことが難しいか。

2, 京極中2年生

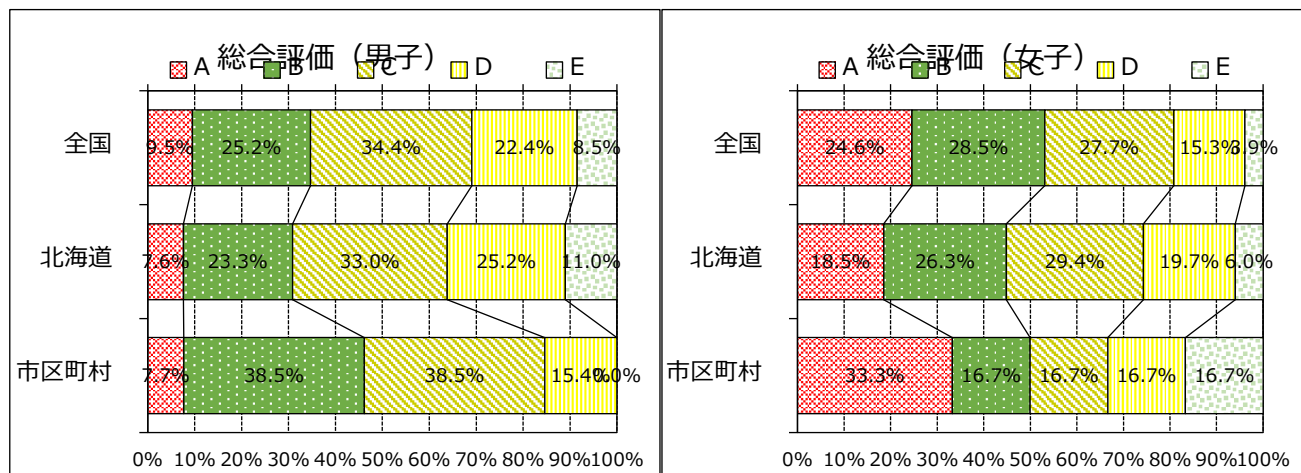
(1) 実技集計※中学生については、持久走かシャトルランのどちらかの記録を報告すればよいとなっているため、持久走の入力は行っていない。



男子は全体的に運動能力が高く、女子は低めの傾向にある。男女ともに課題となっているのは長座体前屈、女子の課題としては上体起こし、長座体前屈・反復横跳びとなっている。

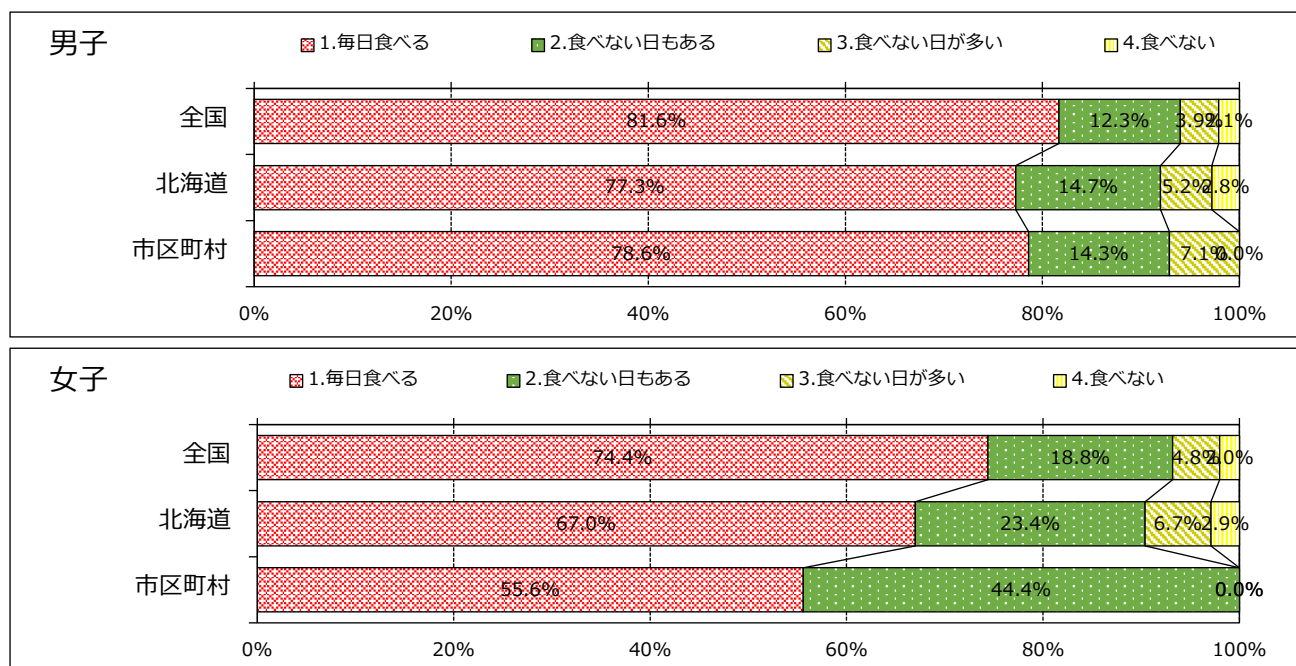
上体起こし・長座体前屈については、小・中学校共通の課題になっているため、中学校保健体育教員と連携した取り組みが有効と考える。

(2) 総合評価



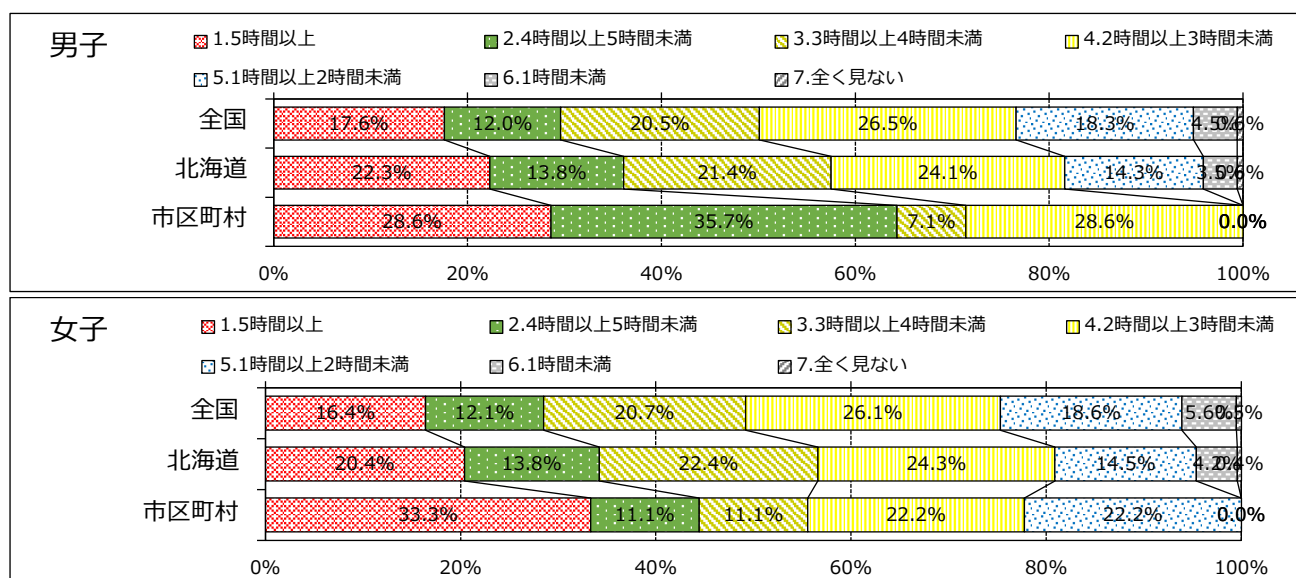
(3) 生徒質問紙

Q6：朝食は毎日食べますか（学校が休みの日も含む）



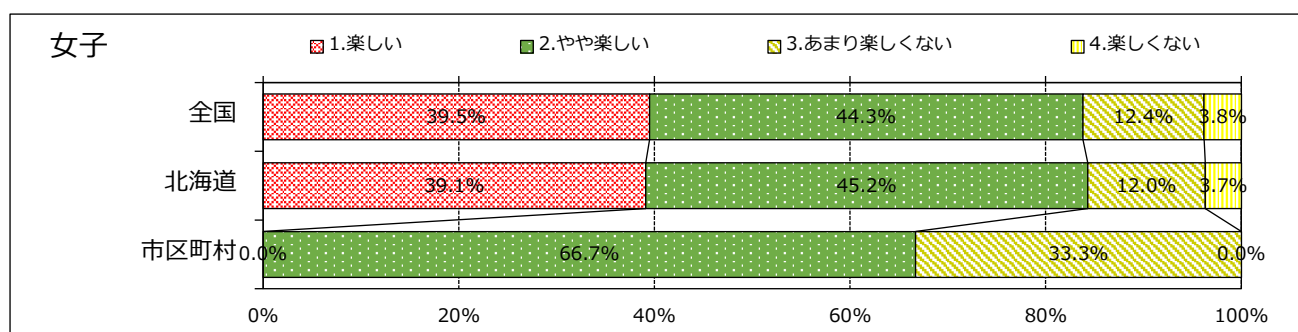
⇒食べない日が多いと答えたのは1名のみと思われる。

Q8：学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。（平日）

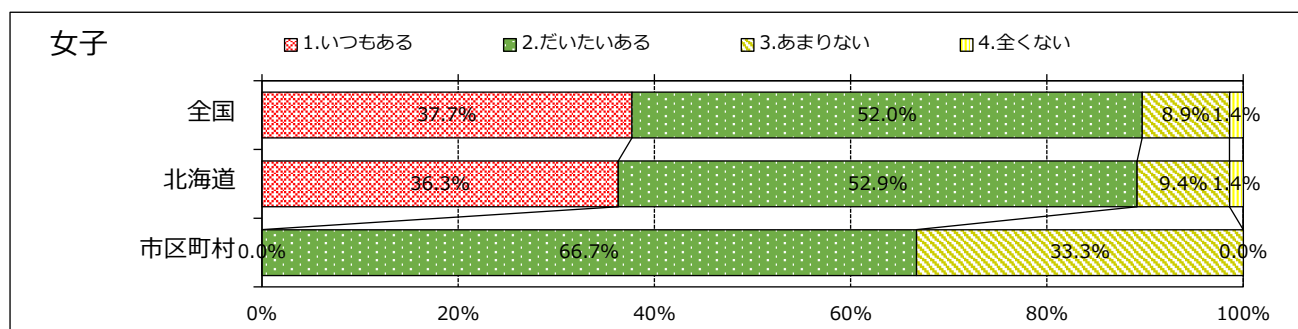


⇒4時間以上の長時間利用者が男子は30%以上、女子は10%以上多くなっている。生徒指導担当者会議において、小・中学校の共通課題であることを提起したい。

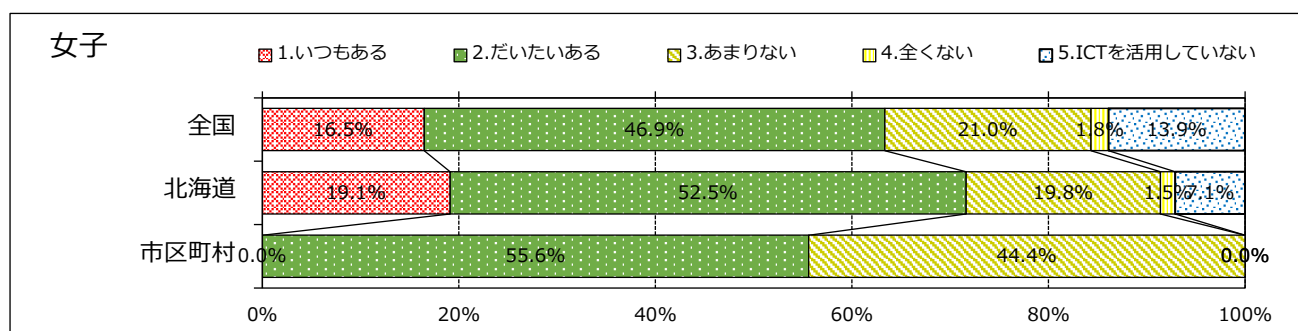
Q9：保健体育の授業は楽しいですか



Q13：保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



Q14：保健体育の授業で、ICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



⇒中学生女子については、運動能力が全体的に低い傾向にあるが、Q9・13・14の3項目の結果から授業改善のヒントとなる回答があると考えられる。授業時間において、

①「わかる・できる」を実感するための協働学習

② ①を支援するためのICTの活用

全教科共通の視点とも言えるため、校内研修の共通項目として検討することも良いと思う。